

ROBO-TV 自動ダウンロードソフト Xdump4 設定ガイド

(対象 Ver. 7.02.03 以降)



株式会社ディーグラット

2016年11月

(第2.0.0版)

この度は、ROBO-TV R 自動ダウンロードソフト「Xdump4(エックスダンプフォー)」(以下、本ソフト)をご利用頂きまして、誠に有難うございます。

本ガイドは、本ソフトの設定および設定に必要な操作方法について解説しています。

必ずお読み下さい。

本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載あるいは複製することは、固く禁じられています。

本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。本書では、™、®、©等のマークは記載していません。

本書の内容は、製品の改良等により、内容が実際と異なる場合があります、将来告知なく変更することがあります。

本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一わかりにくい点や記載もれ等、お気づきの点がございましたらご連絡下さい。

本製品を使用したことによるお客様の侵害、逸失利益、または第三者のいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

本製品の故障、誤作動、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通信等の機器を逸したために生じた損害や万一、本製品に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。

本書に他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。

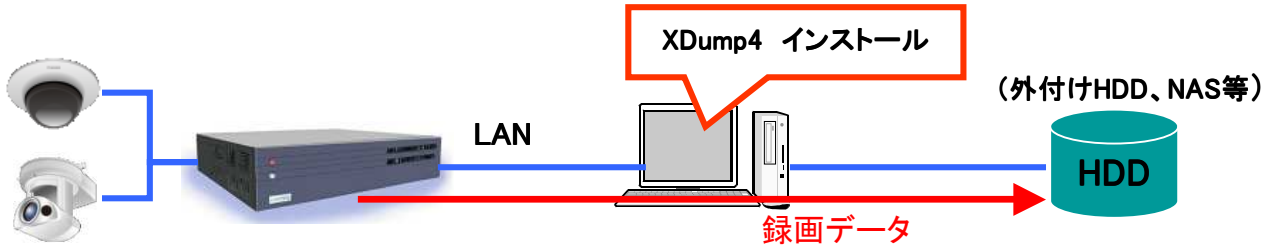
株式会社 ディーグラット

<目次>

1	XDUMP4 の概要	4
1.1	Xdump4 の有効な使い方.....	4
1.2	「Xdump4」の新機能（「Xdump2」からの追加、変更点）.....	5
1.3	本ソフトの動作環境.....	5
1.4	リリースノート（一般販売）.....	5
2	インストール	6
2.1	インストール手順.....	6
2.2	本ソフトの起動.....	7
3	メイン画面の各部説明	8
3.1	各部説明.....	8
4	設定方法	11
4.1	カメラの指定とダウンロード時刻（対象となる時間帯）.....	11
4.1.1	ダウンロード時刻とジョブの実行時刻の考え方.....	12
4.2	手動でのダウンロード方法.....	12
4.3	定時に実行する設定（バッチ処理）.....	13
4.3.1	保存場所（ディレクトリ）の設定について.....	13
4.4	自動ダウンロードの処理とファイル生成ローテーションについて.....	14
4.4.1	ファイル名の生成ルール.....	14
4.5	実行処理のオーバーラップについて.....	14
4.6	通知設定.....	15
4.6.1	メール通知.....	15
4.6.2	ツリービューア 200 へのポップアップ通知.....	16
5	ダウンロードしたデータを見るには	17
5.1	ダウンロードデータの参照.....	17
6	【改定履歴】	18

1 Xdump4 の概要

Xdump4(以下、本ソフト)は、録画サーバーで保存している過去画像(録画データ:拡張子「.cvi」)を指定した時刻に指定した場所(パス)へ、自動でダウンロードするためのソフトです。



1.1 Xdump4 の有効な使い方

Xdump4 は、録画サーバーの録画データを外部の HDD に自動でダウンロードするソフトです。

カメラ毎に過去画像をダウンロードしたい時間帯の設定が可能です。また、定期的にダウンロードを開始するジョブの時間指定(バッチ処理)もできます。

Xdump4

以上のようなご要望がある場合は、Xdump4 が有効です。

特に 4. のような複数サーバーがある場合は、サーバー単位(マルチスレッド)で同時にダウンロード処理が行える為非常に有効です。

ご注意:ダウンロードし「保存」する先の、録画用ファイル「保存ディレクトリ」の容量は十分な容量を持たせて下さい。(容量オーバーになる前に、別メディアに保存しなおして下さい。)

1.2 「Xdump4」の新機能（「Xdump2」からの追加、変更点）

【新機能】

- 自動削除機能
- H.264 対応
- 検索機能
- エラー通知 (ver.7.01.00 以降は、ツリービューア 200 ver.6.02.03 版以降にポップアップ通知が可能)
- ダウンロード過去画像の日付指定

【変更点】

自動削除機能、参照機能を設けたためファイル生成ルールを固定としました。

画像の保存場所は任意に設定できますが、フォルダの構成、ファイル名等はシステムが決定し、以前の「Xdump2」のように変えることはできません。自動化を進めるため以下の機能は廃止されました。

- ファイル名規則のカスタマイズ
- マルチ起動(複数の立ち上げ)
- 制限サイズ
- ダウンロード条件

1.3 本ソフトの動作環境

- OS: Windows 7 / 8 / 8.1 / 10
- CPU、メモリ: OS の動作環境以上のスペックであること。

ツリービューア PC にインストール場合の推奨

- OS: Windows 7 / 8 (32・64bit 版)、8.1 / 10
- CPU: 推奨は 1.4GHz 以上、カメラ 10 台以上は複数 Core (Core i5 等) を推奨
- メモリ容量: 2GB 以上 (推奨 4GB)

1.4 リリースノート(一般販売)

2016/11/21 ver 7.02.03

- ・インストーラーによるインストールを可能にした。
- ・使用するビューアによってダンプリスト切替えを追加。

2016/1/22 ver 7.02.02 バックグラウンド対応化。

2015/9/8 ver 7.01.03

保存日数の最大値を 500 から 1500 に変更。「定時に実行」設定字でも開始ボタンの使用が可能。

2015/7/24 ver 7.01.01 ツリービューアと連動しビューアへの通知機能を追加。

2015/1/17 ver 7.00.00 リリース。Windows 64-bit 対応 (WOW64)。

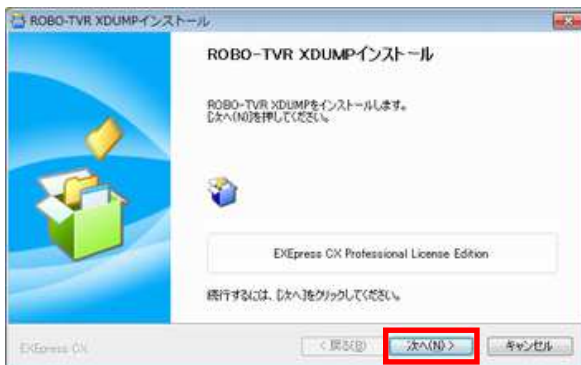
2 インストール

2.1 インストール手順

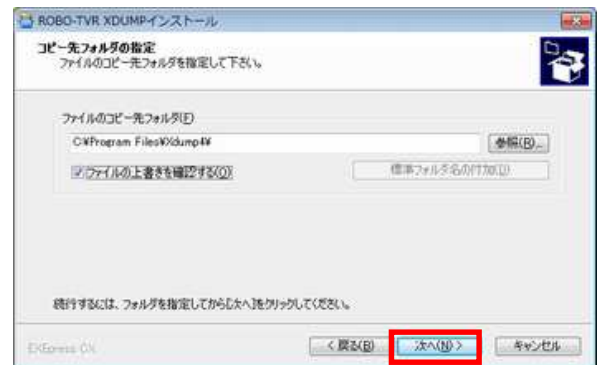
インストール CD を開き「install_tv.c.exe」を実行します。次のようにウィザードに従ってインストールを行います。



ダブルクリックします。



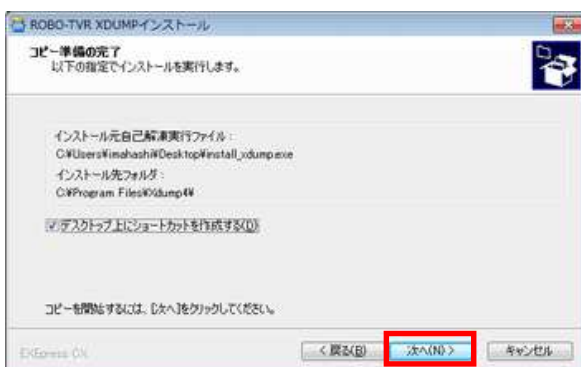
「次へ」をクリックします。



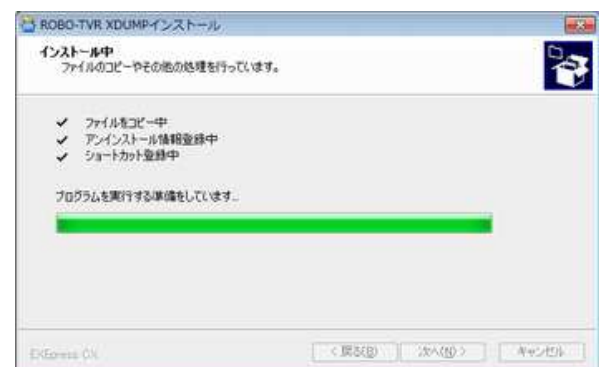
「次へ」をクリックします。



「はい」をクリックします。



「次へ」をクリックします。



インストールを実行しています。

インストールの完了画面でインストールは終了です。

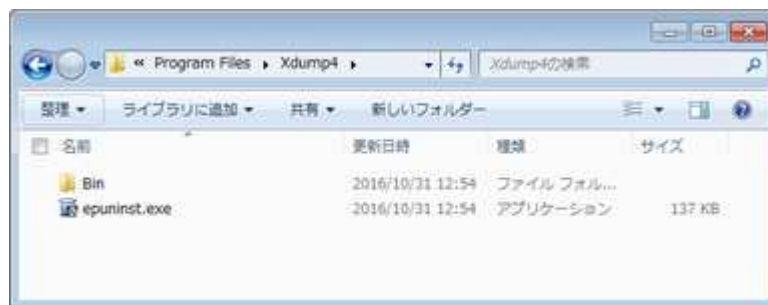


2.2 本ソフトの起動

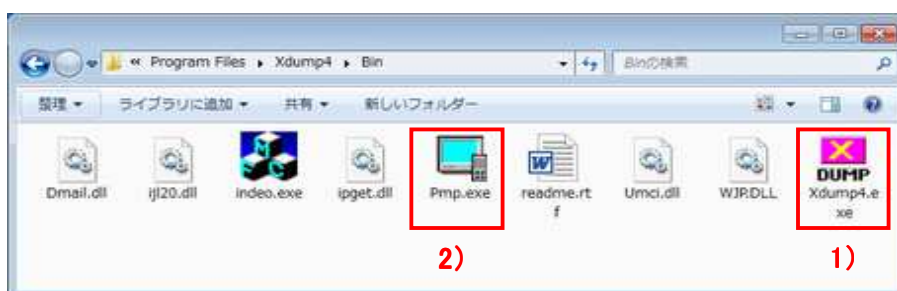
デスクトップへショートカットアイコンを作成した場合は、そのアイコンをダブルクリックで起動します。

または、通常インストールすると Cドライブの¥Program Files の下に Xdump4 のフォルダができています。Xdump4 のフォルダを開くと、Bin フォルダとアンインストーラーがあります。

- 「Xdump4」フォルダを任意の場所に置いた場合、その場所の「Xdump4.exe」をダブルクリックで起動して下さい。



Bin フォルダの中の「Xdump4.exe」をダブルクリックすると、本ソフトが起動します。下図赤枠の1)。



使用するプログラムの説明

- 1) Xdump4.exe・・・本ソフト本体。
- 2) Pmp.exe・・・ダウンロードした画像の再生プログラム。

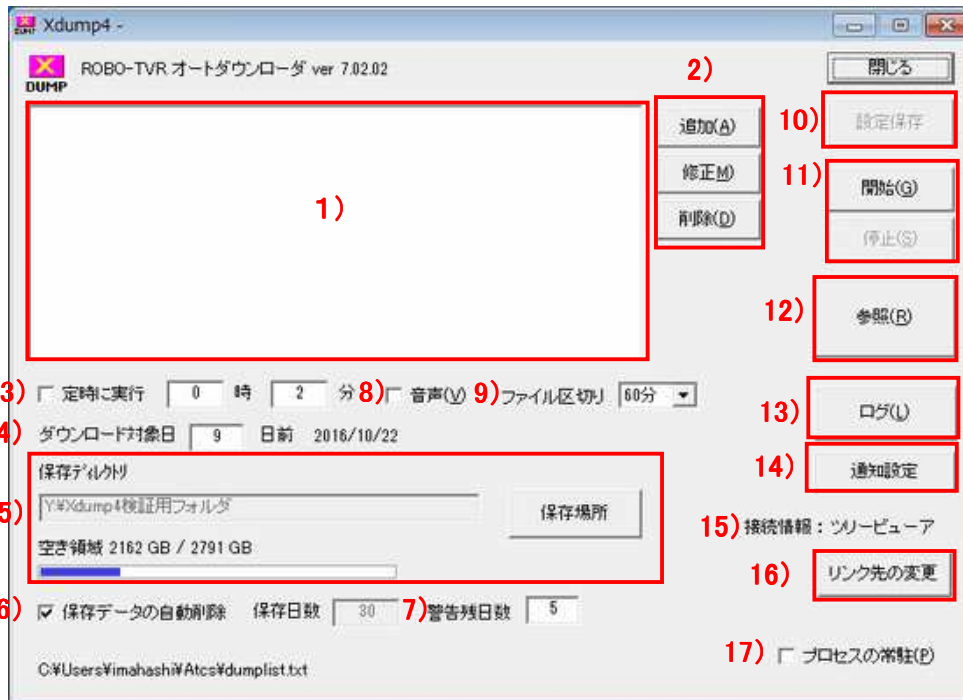
Xdump4 からは、ダウンロードしたデータを「参照」するときに Pmp.exe が起動します。

Pmp.exe はフリーソフトです。ダウンロードファイルの cvi 形式のデータを再生することができます。

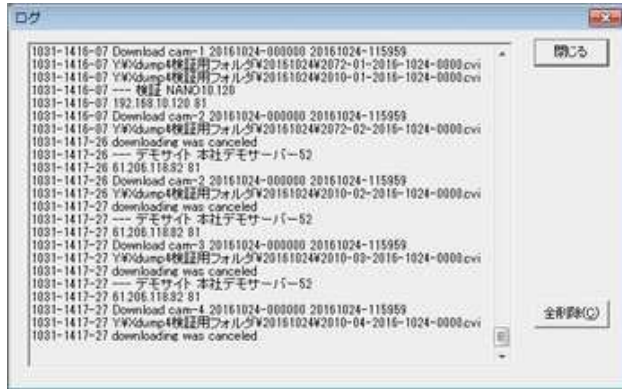
有償のビューソフトが利用できない環境等で、cvi 形式のデータを再生したとき等にご自由に配布できます。

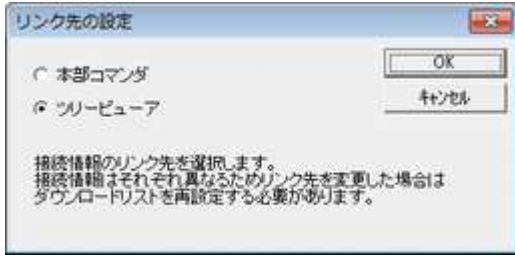
3 メイン画面の各部説明

3.1 各部説明



No.	名称	説明
1)	対象カメラ表示ペイン	ダウンロード設定した対象のカメラが表示されます(1行が1カメラ)。表記は、左から「録画サーバー名」、「カメラ No.」、「(設定している)ダウンロード対象時間帯」。
2)	「ライン編集」ボタン	左の表示ペインへリストされた対象カメラを「追加」、「修正」、「削除」するボタンです。「追加」、「修正」を押すと、「ライン編集」ダイアログを呼出します。
3)	定時に実行	チェックをすると、右の入力欄で設定した「時 分」になるとダウンロード作業を開始します。※チェックをすると、入力欄は使用できなくなります。「時分」を変更する場合は、一度チェックを外します。
4)	ダウンロード対象日	ダウンロードの対象日(n日前)を設定します。※右に表示される日付は、ダウンロードの対象日付です。
5)	保存ディレクトリ	「保存ディレクトリ」には、設定した保存用ディレクトリが表示されます。「空き領域」は、指定された保存ディレクトリの属するドライブ(パーティション)の空き領域をGB単位で表示します。ディレクトリを複数指定した場合の表示は、現在アクティブになっている(ダウンロードを実行している書き込み先)ディレクトリの情報が表示されます。「保存場所」ボタンでディレクトリを指定します。最大4ディレクトリを指定可能です。最終的にディスク領域を使い果たした際に、処理を停止するか、古いものから自動削除するかを選択できます。
6)	保存データの自動削除	チェックをすると、右の「保存日数」を超えた時に、自動で削除されます。削除するフォルダは、1日単位です。「保存日数」は整数値を入力します。(Ver7.01.03以降は最大「1,500」まで、以前は「500」まで入力可能)

No.	名称	説明
7)	警告残日数	警告残日数とは、5)の保存ディレクトリ(複数設定している場合は、アクティブ状態の物)の空き容量が、入力した警告残日数を下回ったときに、5)の「空き領域」のグラフ色を青から赤へ変更し、警告をするものです。「メール通知」設定を行っている場合は、メール通知を行います。 ※それまでの記録実績から一日の平均記録量を計算し、設定されたディスクの残日数とを比較しています。
8)	音声	録音を行っている場合にチェックすると、音声データをダウンロードします。
9)	ファイル区切り	生成されるダウンロードファイル(録画データ)区切りを、5、10、15、20、30、60分から選択し、指定します。 例えばダウンロードする過去画像の時間帯を10時間とし、ファイルの区切りを60分に指定すると、1カメラにつき10個のファイルが生成されます。但し、1個のファイルが1GBを越えるときは、分の区切りで複数のファイルに分割します。
10)	設定保存	本ソフトをWindowsのタスクスケジューラに登録して、バックグラウンドで使用する場合にのみ使用します。本ソフトをタスクスケジューラに登録して実行して使用する場合に、設定を変更した場合に本ボタンが使用可能になります。設定変更内容を保存する場合に使用して下さい。 ※タスクスケジューラに登録する場合や設定変更を行う場合は、必ず administrator 権限でログインして本ソフトを起動して行って下さい。
11)	手動ボタン	「開始」ボタンをクリックで、直ちにダウンロードを実行します。 「停止」ボタンをクリックすると、ダウンロードを停止します。
12)	「参照」ボタン	「映像ファイル参照」ダイアログを開きます。 ダウンロードされた映像ファイルを日付、接続先(録画サーバー)、カメラを指定して一覧表示し、見たいファイルを指定すると、「再生」ボタンで(再生プログラム<PMP.exe>を使って)表示できます。 運用では大量のファイルが生成されますが、見たい部分を簡単に呼び出すことができます。
13)	「ログ」ボタン	Xdump4 のログを表示します。「ログ」ダイアログを表示し、ダウンロードの実行状況等が確認できます。 
14)	「通知設定」ボタン	接続エラー等が発生した場合、E-MAILに通知を設定できます。 メールサーバーには利用可能なSMTPサーバーを設定し、適宜アカウント情報を入力して下さい。 通知するエラーは次のとおりです。 1. 接続できない 2. 切断された 3. 書き込みエラー 4. ディスクフル 5. 録画されていない ※POP BEFORE SMTP モードはサポートしていません。

No.	名称	説明
15)	接続情報	ROBO-TV 専用ビューソフト「ツリービュー」または「本部コマンダ」のいずれかを表示します。表示しているビューソフトで登録されている接続（録画サーバーとカメラ）の情報を Xdump4 で登録設定ができます。
16)	リンク先の変更	<p>(Ver7.02.03 新機能)</p> <p>接続先（録画サーバー）情報を取得するためのリンク先ビューアを指定します。Xdump4 を設定する際に、いずれか一方を指定します。</p>  <p>ダウンロード対象カメラを設定後に、このリンク先を切替えると「対象カメラ表示ペイン」に表示している情報が切替ります。</p>
17)	プロセスの常駐	チェックをすると、本ソフトをタスクバーに常駐します。「定時に実行する」場合は、チェックをお勧めします。

4 設定方法

4.1 カメラの指定とダウンロード時刻(対象となる時間帯)

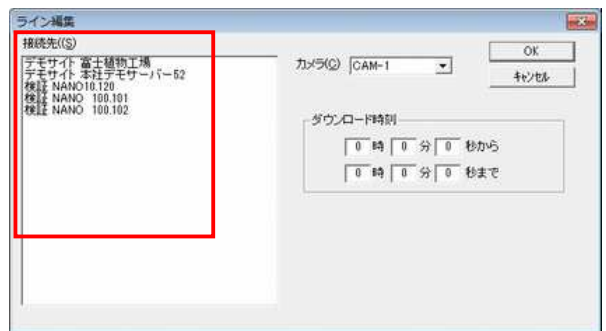
※接続情報は、ビューソフトで使っている接続データベース(ツリービューア 200:connect1.xml、本部コマンドー:conlist.csv)を利用します。

ご注意: ツリービューア 200 は Ver.6.02.03 以降のバージョンになります。

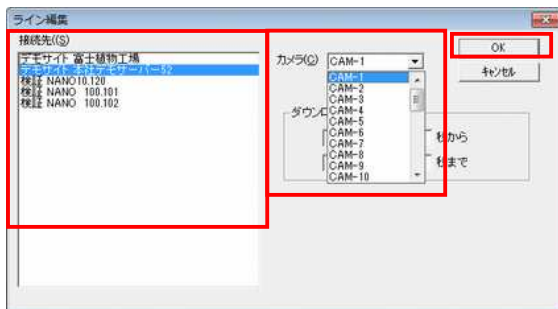
①「リンク先の変更」で使用しているビューアを選択します。「追加」ボタンをクリックし、「ライン編集」画面を呼び出します。



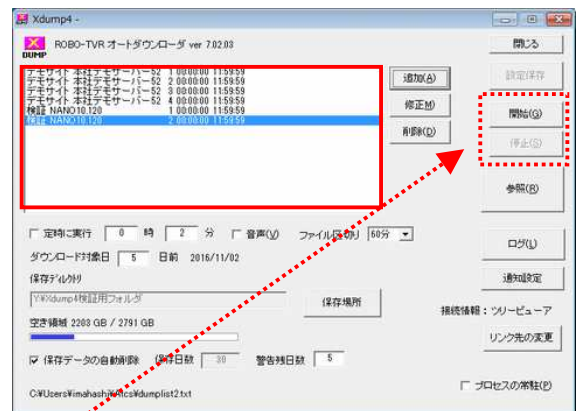
②「ライン編集」画面に接続先(録画サーバー名)が表示されていることを確認します。



③接続先を指定後にカメラをプルダウンから選択し、ダウンロード時刻(何時から何時まで)を入力します。



④「OK」をクリックすると左ペインにリストされます。この作業を対象となるカメラの数だけ行います。



破線の「開始」ボタンをクリックすると、ダウンロードを開始します。「停止」でストップできます。

ご注意: 左にリストされているカメラすべてのダウンロードが実行されます。

ご注意: 一日の最大範囲は、0:00:00 - 23:59:59 となり最後の1秒は仕様上指定できません。日にちをまたがったの設定はできません。

そのため、全ての過去画像(録画データ)をダウンロードして保存する運用の場合に、本項での「ダウンロード時刻」の設定は「0時0分0秒から」「23時59分59秒」となります。

4.1.1 ダウンロード時刻とジョブの実行時刻の考え方

ダウンロード範囲は、時、分、秒で指定できます。

ご注意:一日の最大範囲は、0:00:00 – 23:59:59 となり最後の1秒は仕様上指定できません。日にちをまたがった設定はできません。

基本ルールは、各ダウンロードの終了時刻がダウンロード実行時刻より前なら当日、後なら前日となります。ただし、Xdump4では、対象日付を何日前で指定でき、日単位での遅延保存が可能です。

また、実行時刻は、手動と定時実行によって違います。

手動の場合は「開始」ボタンを「クリックした時刻」、定時実行の場合は「設定された時刻」を基準とします。

複数のセッションがあってもこの時刻は変わりません。

4.2 手動でのダウンロード方法

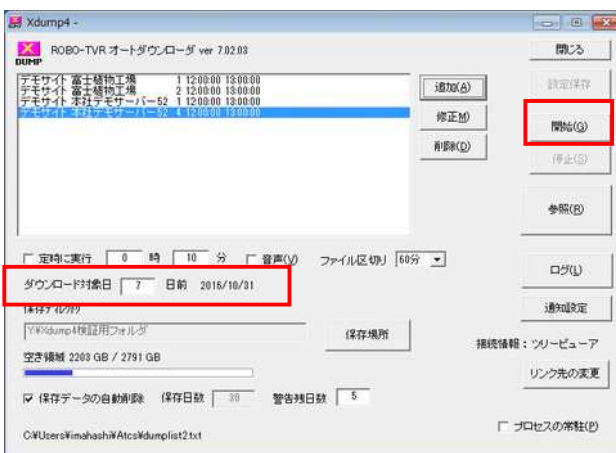
前ページのダウンロードするカメラの設定が終了し、直ぐにダウンロードを行いたい場合は手動でダウンロードの実行ができます。

①「ダウンロード対象日」を決めます。

「開始」ボタンをクリックでダウンロードが始まります。

②左下のフレームカウンターが動いていると

ダウンロード実行中です。



③途中で終える場合は「停止」をクリックでキャンセルのメッセージを表示しますので「はい」をクリックで終了です。



4.3 定時に実行する設定（バッチ処理）

毎日ダウンロードを実行する場合は、下図を基に設定を行って下さい。

①毎日決まった時刻にダウンロードを実行する場合は、時刻を入力して、「定時に実行」にチェックをします。

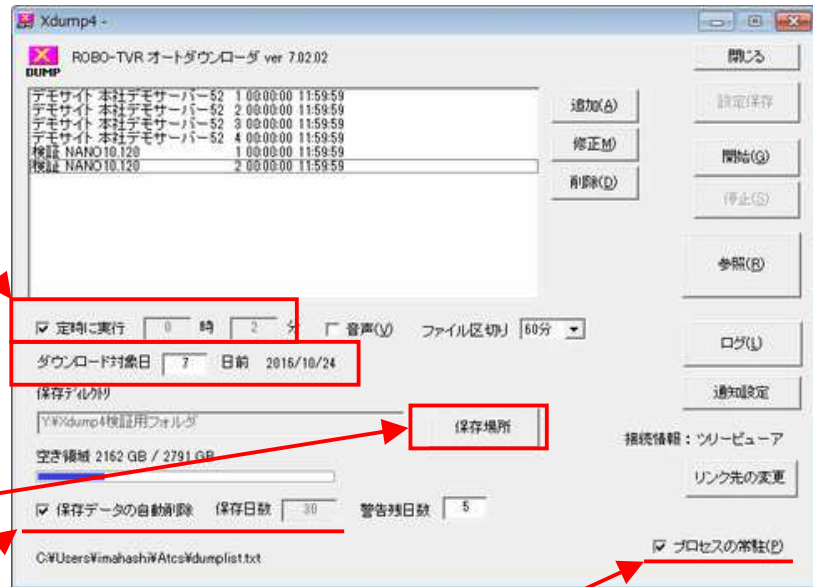
②ダウンロードの対象日を入力して指定します。

③保存する場所（ディレクトリ）を「保存場所」ボタンで指定します。

（下記参照）

④保存するデータを日にちで決める場合は、保存する日にちを「保存日数」に入力し、「保存データの自動削除」にチェックをします。

⑤「プロセスの常駐」にチェックをすると、本ソフトがタスクバーに常駐します。「閉じる」ボタンをクリックしても実際は終了しません。



ご注意: Ver7.01.03 以降この「定時に実行」設定をしても、手動の「開始」、「停止」が可能となっています。

4.3.1 保存場所（ディレクトリ）の設定について

Xdump4 の「保存場所」ボタンをクリックすると、次のような「保存場所」ダイアログが開きます。ダウンロードデータを保存するディレクトリを「参照」ボタンから、選択し指定します。



「ディスクフル時の処理」

指定したディレクトリが一杯になった場合の処理を次のいずれかを選択します。

- 「停止」: ディスクフル時にダウンロードを止めます。
- 「古いものから削除」: 最も古いデータを削除し、ダウンロードを実行し続けます。

複数保存ディレクトリを指定した場合は、1→2→3→4 の順に保存します。

4.4 自動ダウンロードの処理とファイル生成ローテーションについて

自動ダウンロードのジョブ実行は、接続先(録画サーバー)ごとにマルチスレッドで行います。

一日ごとにフォルダを生成し、決まった日数で古いものからフォルダ毎に削除します。削除するタイミングは、ダウンロードの開始時です。

ダウンロードファイル(録画データ)の生成は指定した分区切りで行います。

例えばダウンロードする過去画像の時間帯を10時間とし、ファイルの区切りを60分に指定すると、1カメラにつき10個のファイルが生成されます。但し、1個のファイルが1GBを越えるときは、分の区切りで複数のファイルに分割します。

H.264 形式では、区切ったところが IDR フレームでない場合は次の IDR の手前で区切ります。

4.4.1 ファイル名の生成ルール

ダウンロードファイルは、

接続先(サーバー)ID-カメラ No.-西暦年-月日-ダウンロードデータ期間の開始時刻.cvi

例:2001-01-2016-1031-0000.cvi

4.5 実行処理のオーバーラップについて

0時0分に開始して24時間以内でダウンロードが終了しなかった場合はオーバーラップ動作となります。前日のダウンロードがすべて終了してから次の日のダウンロードが開始されます。

複数の接続先についてはマルチスレッドで同時処理をしますが、各接続先についてはカメラごとに順次ダウンロードを行うためマルチセッションにはなりません。一日のダウンロードが間に合わない場合は、同じ接続先を複数作成し、カメラごとのセッションとすることは可能です。

4.6 通知設定

Xdump4 では、接続エラー等が発生した場合、E-MAIL で指定のアドレスに通知を行うことができます。また Xdump4 ver.7.01.00 以降では、指定した PC のツリービューにポップアップ通知を行うことが可能です。
ご注意: ROBO-TV/R の管理ソフト「本部コマンダー」では、ポップアップ通知は行えません。

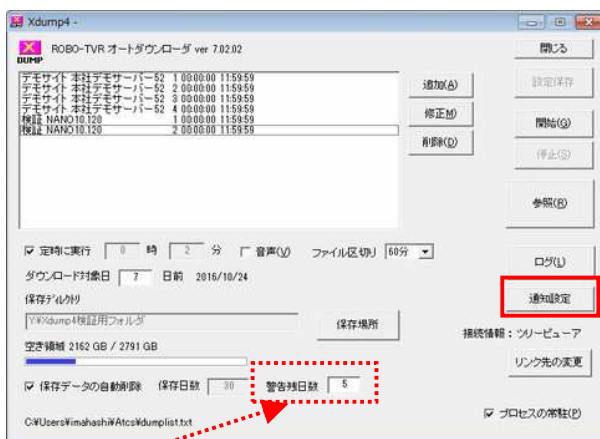
4.6.1 メール通知

通知することが可能なエラーは次になります。

- 接続できない
- 切断された
- 書き込みエラー
- ディスクフル
- 録画されていない

設定は次のとおりです。

- ② 下図赤枠の「通知設定」ボタンをクリックすると、「通知設定」ダイアログが開きます。



※「警告残日数」は、それまでの記録実績から一日の平均記録量を計算し、設定されたディスクの残日数によってメール通知を行うことができます。

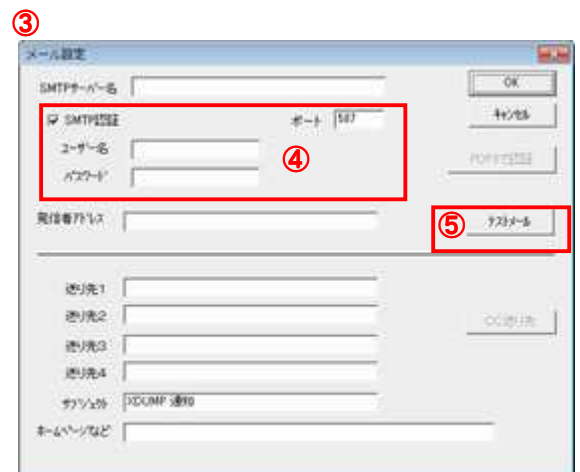
- ③ 右図「メール設定」ダイアログに利用可能な SMTP サーバーを設定し、「発信者アドレス」、「送り先」アドレス(4つまで)を入力して下さい。「サブジェクト」は、任意で変更可能です。

- ④ 「SMTP 認証」が必要な場合は、チェックをし、「ユーザー名」、「パスワード」を入力します。

※POP BEFORE SMTP はサポートしていません。

- ⑤ 「テストメール」ボタンで正しく送信されるか確認をお願いします。

- ① 「メール通知」にチェックをすると、「メール設定」ボタンが使用可能になります。これをクリックし「メール設定」ダイアログを開きます。



4.6.2 ツリービューア 200 へのポップアップ通知

ツリービューア 200 (ver. 6.02.03 以降) へポップアップ通知を行う場合は、受信するツリービューア 200 側でも設定を行っておく必要があります。

設定は次のとおりです。

① XDump4 の設定

「通知設定」ボタンをクリックし、「通知設定」ダイアログを開きます。

「ビューア通知」にチェックをすると、「通知先 IP アドレス欄」が入力可能となりますので、通知対象のツリービューアの PC の IP アドレスを指定します(3つまで)。

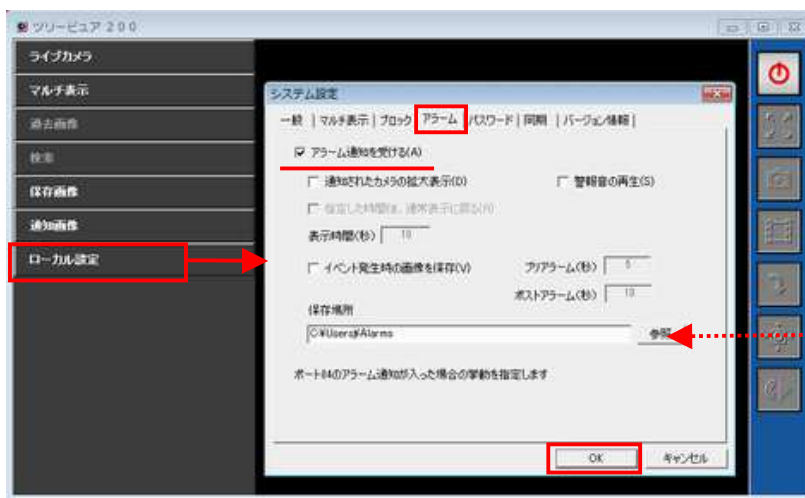


ご注意: ポートの番号は変更しないで下さい。

② ツリービューアの設定

メインメニューの「ローカル設定」で「システム設定」ダイアログの「アラーム」タブを選択します(下図)。

「アラーム通知を受ける」にチェックをし、「OK」ボタンで終了です。



※アラーム通知を受け取った、ログファイル(notice)は「保存場所」に指定したディレクトリに保存します。

③ 通知テスト

上記①、②の設定が終了しましたら、①の図の赤破線枠の「通知テスト」ボタンをクリックして下さい。

ツリービューアの画面に下図のような通知メッセージが表示されましたら、確認完了です。



ご注意: ポップアップ通知表示は、ツリービューアが起動され画面に表示されているときのみ有効です。

(通知ログファイルへは通知内容が残ります。)

5 ダウンロードしたデータを見るには

ダウンロードした過去画像(.cvi ファイル)、ROBO-TV 専用ビューア(有償)「ツリービューア 200」、または「本部コマンダー」で再生することができます。

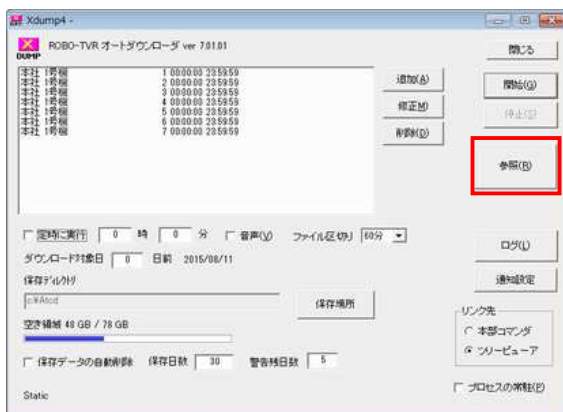
- ・ツリービューア 200: メインメニューの「保存画像」の「参照」ボタンから、ディレクトリおよび cvi ファイルを指定。
- ・本部コマンダー: メニュー「ファイル」→「開く」から、ディレクトリおよび cvi ファイルを指定。

Xdump4 でもダウンロードした過去画像(データ)を再生(参照)することができます。次項がその方法です。

5.1 ダウンロードデータの参照

ダウンロードされた画像ファイルを日付、接続先(録画サーバー)、カメラを指定して一覧表示し、見たいファイルを指定すると、「再生」ボタンで(再生プログラム<PMP.exe>を使って)表示できます。

①「参照」ボタンをクリックします。

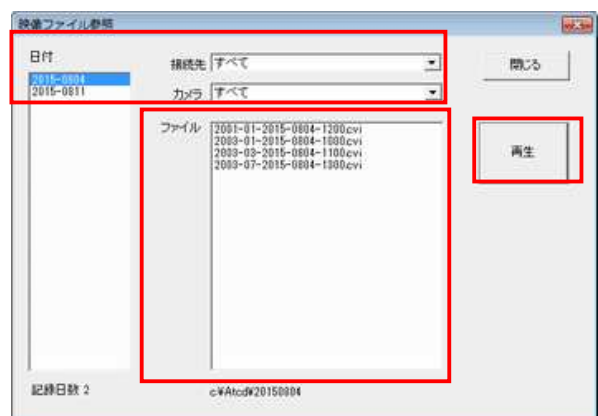


②下図「映像ファイル参照」が表示されます。

「日付」、「接続先」、「カメラ」を指定します。

③「ファイル」に表示されたファイル名を指定すると、「再生」ボタンが有効になります。

④「再生」ボタンをクリックすると、再生ソフト「PMP」が起動します。



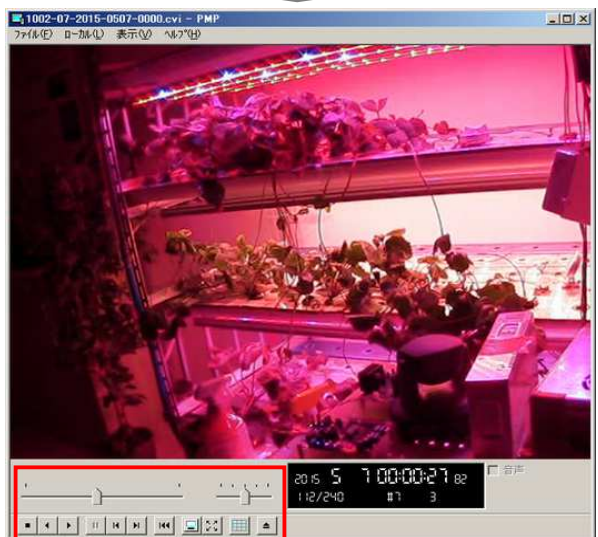
⑤再生ソフト「PMP」が表示されます。(右図)

画面左下(赤枠)のコンソールで、再生等行えます。

ご注意:「H.264 対応録画サーバー」で録画したダウンロードファイルは、「逆再生」や「コマ戻し」等使用できない機能があります。

再生ソフト「PMP」はフリーソフトです。cviファイルをツリービューア等の有償ソフトがインストールされていないPC等で再生したい場合等のときは、ご自由に配布して下さい。

ツリービューアのCDにも標準バンドルしています。また専用の操作ガイドもその中にあります。



6 【改定履歴】

- ・2015年5月 初版
- ・2015年8月12日 Xdump4 ver.7.01.00 にバージョンアップ(ツリービューア連動、通知)に伴う改定。1.1.0 版
- ・2016年11月21日 ver.7.02.03 バージョンアップに伴い大幅改訂。2.0.0 版

著作
株式会社ディーグラット

〈〈本社〉〉
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 6-23-2 第 25SY ビル 5F
TEL:03-5467-4786 FAX:03-5467-4784
<http://www.d-glatt.co.jp>